

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ミクロ経済学演習 (Microeconomics Exercises) 2037122-088					担当教員	牧野 智一 (マキノ トモカズ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 協同学修型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要

本授業は、ERE（経済学検定試験）の受験に向け、ミクロ経済学の知識を深めることを目的とする。ERE（経済学検定試験）は、全国単位で行われており、各自の経済学の習熟度を客観的に知ることができる検定である。近年では、企業が採用の際に、このERE（経済学検定試験）を活用している例もあり、注目度が高まっている検定でもある。

本授業では、1年次に学習したミクロ経済学の知識の確認と、ERE（経済学検定試験）などの問題演習を中心に講義を進める。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義形式の授業によるミクロ経済学の知識の確認と、知識の定着を目指した関連分野の問題演習を交えながら授業を進める。各回の授業内容は関連しているため、十分な復習をした上で授業に臨むこと。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」の知識を有すること。「マクロ経済学演習」と共に履修することを推奨する。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 消費者の効用最大化について理解し、関連する演習問題を解くことができる。
- (ii) 最適消費の変化や財の分類について理解し、関連する演習問題を解くことができる。
- (iii) 企業の様々な費用曲線について理解し、関連する演習問題を解くことができる。
- (iv) 企業の利潤最大化について理解し、関連する問題を解くことができる。

⑥ テキスト（教科書）

西村和雄・八木尚志（2008）『経済学ベーシックゼミナール』実務教育出版

⑦ 参考図書・指定図書

竹内信仁編（2013）『スタンダードマクロ経済学』中央経済社、
経済法令研究会編(年2回発行)『ERE(経済学検定試験)問題集』経済法令研究会

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%					30%		100%
(i) 消費者の効用最大化について理解し、関連する演習問題を解くことができる。	20%					8%		28%
(ii) 最適消費の変化や財の分類について理解し、関連する演習問題を解くことができる。	15%					7%		22%
(iii) 企業の様々な費用曲線について理解し、関連する演習問題を解くことができる。	15%					7%		22%
(iv) 企業の利潤最大化について理解し、関連する問題を解くことができる。	20%					8%		28%
フィードバックの方法	試験結果の得点分布等を公表する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
昨年度に引き続き、学生諸君が授業内容を理解しやすいように、わかりやすい表現と丁寧な解説を心掛けて授業を行う。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	オリエンテーション	教科書、筆記用具	ミクロ経済学の知識の見直し 60分
2	効用関数と無差別曲線	教科書、筆記用具	効用関数と無差別曲線の理解 60分
3	予算制約	教科書、筆記用具	予算制約についての理解 60分
4	効用最大化（最適消費）	教科書、筆記用具	図による効用最大化（最適消費）についての理解 60分

5	計算による効用最大化	教科書、筆記用具	計算による効用最大化の方法の習得	60分
6	所得の変化と最適消費	教科書、筆記用具	所得の変化と最適消費の関係の理解	60分
7	価格の変化と最適消費	教科書、筆記用具	価格の変化と最適消費の関係の理解	60分
8	財の種類とスルツキー分解	教科書、筆記用具	財の種類とスルツキー分解についての理解	60分
9	生産関数と費用最小化	教科書、筆記用具	生産関数と費用最小化についての理解	60分
10	総費用関数	教科書、筆記用具	総費用関数についての理解	60分
11	様々な費用曲線	教科書、筆記用具	様々な費用曲線とその関係についての理解	60分
12	利潤最大化	教科書、筆記用具	図による利潤最大化についての理解	60分
13	計算による利潤最大化	教科書、筆記用具	計算による利潤最大化の方法の習得	60分
14	長期総費用曲線	教科書、筆記用具	長期総費用曲線と短期総費用曲線の関係の理解	60分
15	まとめ	教科書、筆記用具	各回の講義内容の整理と理解	60分

⑪ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL および協同学修型 AL を採用する。各回の授業に対するコメント（感想・質問等）を学生諸君よりもらい、翌週の授業で可能な限りコメントに対する回答を行い、学修効果の向上に活用する。また、時間に余裕があれば、問題演習において、演習問題の解説を適宜学生諸君にも行ってもらう知識の効率的な習得を目指す。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

